

テゾス
財団
半期更新
活動報告書

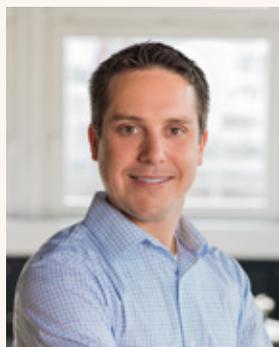


2020年3月

“

エコシステムの急成長は、
テゾス内外のコミュニティから
テゾスへの関心が高まっている
証拠です。

はじめに



テゾス コミュニティ各位

第1期の半期更新活動報告書の発行から、非常に多忙な6か月が過ぎました。テゾスのエコシステムとコミュニティの成長は止まらぬ勢いです。私を理事長に任命しテゾス財団の新理事会が発足した2018年2月当時、私たちには2つの目的がありました。

まず、財団を軌道に戻すこと、2つ目はコミュニティの他のメンバーと協力してテゾスのプロジェクトを推進することです。私は理事として任務を終え、そして今、過去2年間に築き上げてきたこの気運を後任者に任せる時が来ました。まず過去6か月間でコミュニティが達成した多くのマイルストーンのいくつかを取り上げてみましょう。

テゾスのガバナンスプロセスは、バビロンとカルタゴのアップグレードを以てその有効性が引き続き証明されています。ハードフォークを必要とせず自動的にアップグレードする初のパブリックブロックチェーンになることに加えて、テゾスは他のブロックチェーンエコシステムでは見られない定期的な改善リズムを確立できることを示しました。

このテゾスのコミュニティが重大なケースを築いたことを高く評価します。

この着実な進歩は、テゾスの開発者コミュニティの成長が大きく寄与しています。テゾス財団は2019年に新しい開発者1,000人を育成することを目標にしていましたが、その目標を優に超える1,338人の実績となりました。9月末にニューヨークで行われた初のグローバルテゾス会議には450人を超える熱烈なテゾス支援者が集まり、この成長はまさに明白なものとなりました。充実したプログラムで構成されたこの2日間のイベントでは、品質の高いパネル展示、ワークショップ、テゾスに関する幅広いトピックを扱ったディスカッションが行われました。初のグローバルテゾス会議に加えて、ローカルのミートアップと地域のイベントが、世界の各地で頻

繁に開かれ、盛況を博しています。

エコシステムの急成長は、テゾス内外のコミュニティからテゾスへの関心が高まっている証拠です。2019年9月、テゾス財団は、テゾスエコシステム助成金に応募のあった38件のプロジェクトの中から14件を採択し、第2期コホートの助成金プロジェクトを発表しました。また直近では幸いにもエコシステム助成金の第3期コホートの採択プロジェクトを発表する運びとなり、90件の応募プロジェクトの中から21件の新プロジェクトに助成金を交付しました。最新の提案依頼書には118件の申請があり、現在審査中です（助成金の審査プロセスに関する情報は、本書の「助成金」セクションに記載しています）。テゾスエコシステム参加への関心が高まっている状況に大きな期待を抱いて見守っています。

テゾス財団は幸いなことに、2019年を通じてテゾスコミュニティが導いた勢いを基盤に成長しています。テゾスを精力的に築き上げてきたさまざまなチームが、2020年に製品を発表する予定で、今後の活用および運用が大きく期待されます。テゾス財団はリソースを提供してテゾスプロトコルとエコシステムの長期的な成功を育てながら、プロジェクトを継続してサポートしてまいります。明るい2020年となりますように！

今後も変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

ライアン・ジェスパerson

目次

はじめに

3

テゾス財団の
役割

5

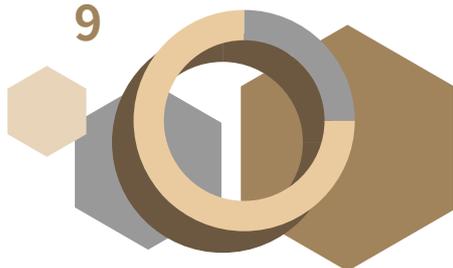
過去6か月の軌跡

6

実績と数字

8

助成金
9



優先順位とプロセス

10

助成金受給者および
その他の受給団体・組織

12

研究・教育

コア開発
助成金

13

エコシステム – ツール
およびアプリケーションの
助成金

16

コミュニティ助成金

24

産業への
活用
27



ファイナンシャルサービス
28

テゾスの
デジタル証券

29

世界地図
32

ファイナンシャル
34

ガバナンス
38



テゾス財団の
理事会と委員会
39

財団理事会
42

財団委員会
44

テゾス財団の役割

テゾスは分散型ピアツーピアシステムをサポートするテクノロジーで、自由参加型のネットワークです。単一の会社が「テゾス」を所有、運営、管理することはありません。テゾスを理解するには、このパラダイムを理解することが不可欠です。

テゾス財団はスイスの財団です。スイス連邦内務省に属するスイス連邦財団監督局の監督下にあります。特にテゾスプロトコルと関連技術の促進と開発を含む、新たに開かれた分散型のソフトウェアアーキテクチャの分野における、新しい技術とアプリケーションの開発促進を活動の目標としています。

テゾスのポジションペーパーで強調しているように、分散ネットワークの成功は、堅実で多様性に富んだ活発なコミュニティの努力で決まります。テゾス財団は、開発者、科学者、ネットワーク検証者（「ベーカー」）、支援者、そして将来的にグローバルなイノベーションを推進しようとプラットフォームの成功に向けて取り組んでいる他の多くの人々と共に、このエコシステムを支えています。

コミュニティ内でのテゾス財団の役割は、テゾスのプロジェクトが長期にわたって続くようサポートするためのリソースを提供することです。世界中の教育研究機関、開発者、活動家などのコミュニティメンバーがテゾスのプロジェクトを推進できるよう、助成金やその他の資金分散方法で戦略的に支援します。

テゾスの可能性はコミュニティに委ねられています。当該コミュニティは、ブロックチェーンエコシステムの中でも最も強固で優れたもののひとつです。利害関係者であれば誰でもテゾスのコミュニティに参加して、プロジェクトに貢献できます。

...分散型ネットワークの成功は、
堅実で多様性に富んだ活発なコミュニティの
努力で決まります。
テゾス財団はこのエコシステムを
支える存在です...

”

テゾスの過去6か月の軌跡

エコシステムからのイベント抜粋

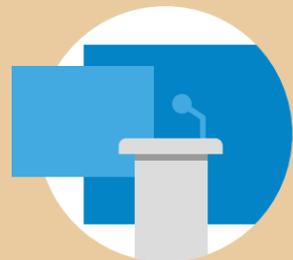


2019年8月2日
テゾスは、Truffle Suiteに助成金を交付し、テゾスをTruffleのツールに統合することでテゾススマートコントラクトの開発を効率化

2019年8月29日
テゾスのガバナンス研究者およびディスカッションフォーラムであるテゾス アゴラが、チェーン変更プロセス補完のために作成

2019年

8月



2019年9月17日
エコシステム助成金受給者の第2期コホートの助成金プロジェクトとして14件のプロジェクトに資金を提供

2019年9月29日
Tquorum グローバルサミット: テゾスのワークショップとディスカッションに450人以上の参加者

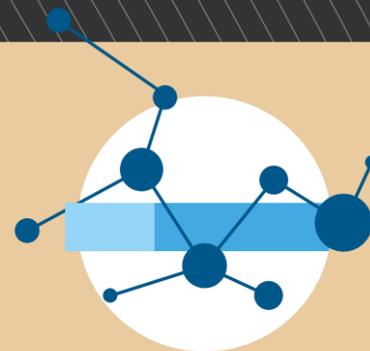
9月



2019年10月11日
テゾス財団とGlobacapが提携し、Globacapの製品でテゾスを一次発行および証券管理に使用

2019年10月18日
Babylonの修正案がテゾスのステークホルダーによって承認され、ネットワーク全体で自動的にアクティブ化

10月



2019年11月1日
テゾス財団は、ベルリンを拠点とするFundament Groupとの戦略的パートナーシップを発表、テゾスの金融商品向けの法的技術ソリューションを導入

2019年11月6日
Coinbaseが自社ユーザー向けにテゾスのステーキングへのアクセスを発表

2019年11月14日
テゾスのガバナンスプロセスの提案期間中にCarthageの修正案を導入

2019年11月22日
フランス国立憲兵隊のサイバー犯罪部門C3Nは、テゾスのスマートコントラクトを介して司法支出を記録すると発表

11月



2019年12月10日
Ledgerはテゾスのステーキングの統合およびLedger Liveへのダイレクトな預入れ/引出しを発表

2019年12月12日
TQ Tezosによると、テゾス構築のために2019年に1,338人の新しい開発者を育成

12月



2020年1月13日
SmartPyチームがSmartPyとSmartPy.ioの最初のオープンソースリリースを発表

2020年1月16日
Nomadic Labsはマドリッドに拠点を置くIMDEA Software Instituteと提携して、テゾス関連分野の科学研究を実施

2020年1月20日
エコシステム助成金受給者の第3期コホートの助成金プロジェクトとして21件のプロジェクトに資金を提供

2020年1月27日
Vertaloがデジタル証券の発行と管理のデフォルトブロックチェーンとしてテゾスを選択

2020年

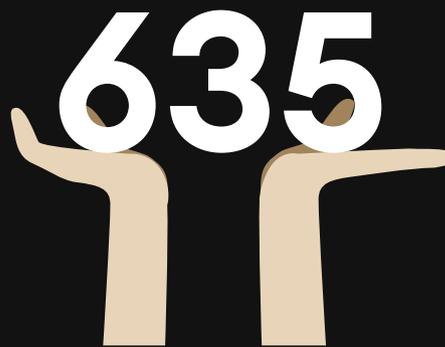
1月

実績と数字

2019年8月以降のテゾス財団のハイライト抜粋



受給者の出身国を



USD (単位:百万) の資産
(2020年1月31日現在)



200件以上の助成金申請と評価



新しい戦略
パートナーシップ



ベースに新たな
助成金を交付



PwCスイスによる2回目の独立外
部監査が完了

助成金

助成金 - 優先順位とプロセス

テゾス財団の主要な活動は、テゾスの長期的な成功維持のためのリソースを企業やイニシアチブに提供することです。当財団は三つの助成金のカテゴリに焦点を当てています。

研究・教育、コア開発助成金

テゾスに関するイノベーション、開発、教育を促進します。これらの助成金には、オンライントレーニングコースからコアプロトコルの開発まで、さまざまなプロジェクトが含まれます。

エコシステム - ツール・アプリケーション助成金

エントリーへの壁を低くして、開発者や後続のアプリケーションのエンドユーザーがテゾスを利用できるようにします。

コミュニティ助成金

テゾス財団が属するテゾスコミュニティを強化し、成長に導く組織やイニシアチブをサポートします。

新規助成金申請の評価プロセスには、通常6～8週間かかります。優秀な応募者とその申請プロジェクトを慎重に評価して支給されたリソースでテゾスエコシステムに比例する価値を生み出すことが重要です。

評価プロセス

ステップ 1

アプリケーションではまず、テゾス財団の正式な要件を満たしていることを確認します。正式な要件は、提案依頼書 (RFP) を介して受給候補者に公開されます。



ステップ 2

第1審査を通過したアプリケーションは、テゾス財団理事会のメンバーであるミシェル・マウニーが議長を務めるテゾス財団の技術諮問委員会 (TAC) に送られ、技術的なデューデリジェンスと評価が行われます。現在のTAC委員のリストは、本半期更新活動報告書の最終欄をご覧ください。TACは助成金自体を決定するのではなく、アプリケーションの技術的強みとテゾスエコシステムへの有用性についてアドバイスを提供します。



ステップ 3

TACから肯定的な推薦を受けたアプリケーションに関しては、デューデリジェンスプロセスを完了した後で、テゾス財団理事会が助成金申請の承認、却下あるいは修正などの最終決定を下します。



ステップ 4

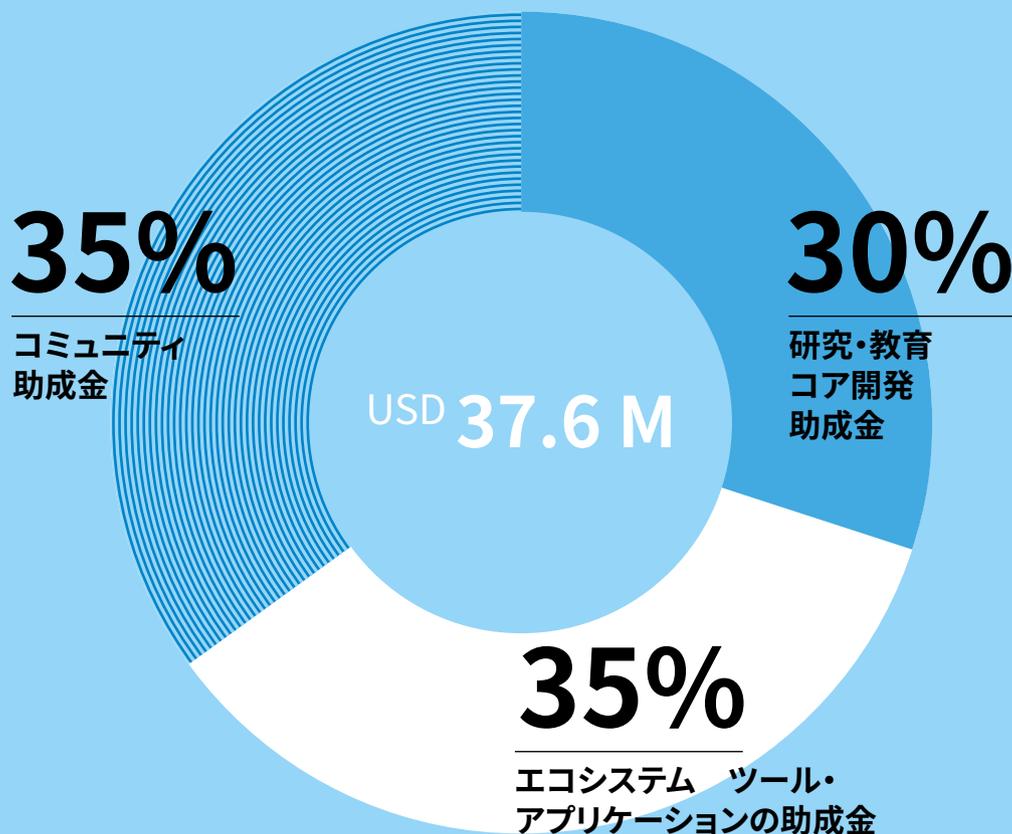
テゾス財団理事会によって助成金申請に関する最終決定を下した後で、結果が申請者に通知されます。助成金が交付される前に、承認された申請者はテゾス財団と協力して法的書類を準備します。

状況によっては、プロジェクトがテゾスエコシステムにとって非常に重要な場合、テゾス財団はアプリケーションをオフサイクルのプロセスで押し進めます。これらのアプリケーションは迅速に処理されますが、同じデューデリジェンスプロセスを受け、同様の承認が必要になることに注意してください。

助成金は通常、複数回に分けて支払われます。あらかじめ定められたマイルストーンが確実に達成されるよう、支払いスケジュールに準じて分割払いを行います。テゾス財団は支払いを管理し、後続の支払いの前に受給者からのマイルストーンレポートを評価します。技術的な評価が必要な場合、このプロセスにTACが関与する場合があります。テゾス財団は、成果不足のプロジェクトに対して支払いを継続しない場合もあります。

受給者とその他の受給 団体・組織

第1期の半期更新活動報告書（2019年8月9日）以降、テゾス財団は26か国で78件の新たなプロジェクトに総額3760万ドルの資金を投入しました。78件の新しい助成金のうち57件（73%）は新規の受給者でした。過去に助成金を受給して、現在も活動中のプロジェクトの中には、本半期更新活動報告書に掲載されていないものもあります。過去の助成金については、テゾス財団の半期更新活動報告書（第1期）をご覧ください。



研究・教育 & コア開発助成金

テゾス財団は、分散システム、暗号化、プログラミング言語、形式検証など、コンピューターサイエンスに関連する幅広いドメインに関する研究と教育をサポートしています。リソースの多くは、世界中のハイレベルな機関や組織の科学者やエンジニアのサポート、さらに将来の才能を育成するための教育プログラムに充てられています。これらのイニシアチブおよびコアプロトコルの開発に貢献するその他のイニシアチブを、テゾス財団は最優先としてします。

受給者とその他の受給団体・組織：

- B9lab、イギリス**
- Blockmatics、アメリカ
- BUIDL Labs、インド
- Cryptium Labs、スイス
- DaiLambda、日本* ***
- Freiburg University、ドイツ
- 京都大学、日本
- The Marigold Project/LIGO、フランス*
- Nomadic Labs、フランス* **
- OCamlLabs、イギリス
- OCaml Software Foundation、フランス
- OCTO Technology、フランス* ***
- SimpleStaking、マルタ
- VDF Alliance、アメリカ

合計: USD **11.2 M**

* 複数のカテゴリの機能を提供する助成金受給者
** サービス契約またはその他の正規の合意を介して
テゾス財団から資金を受ける組織だが、受給者ではない
*** 合意の最終決定中

B9labは、ブロックチェーンに特化したの教育およびトレーニングの大手プロバイダーです。当財団は、開発者向けにLIGOやSmartPyやMichelsonを使ったテゾススマートコントラクトの作成トレーニングプログラムを構築するB9labをサポートしています。これまでに、B9labは約250人の新しいテゾス開発者をトレーニングしました。

Blockmaticsはブルックリンに拠点を置く会社で、教育、研究、トレーニングを通じてブロックチェーンテクノロジーを活用する個人および組織をサポートしています。Blockmaticsチームは、テゾスのスマートコントラクトのためのSmartPyでテゾススマートコントラクトを作成する開発者向け教育コースを公開しています。SmartPyは直感的かつ効果的な言語を導入したテゾス向けのプラットフォームです。

BUIDL LabsはThe Vantage Projectに属するのブロックチェーン研究開発ラボです。チームは分散型ネットワークでユーザーと開発者間の導入時の問題解決に焦点を当てています。この助成金でチームはZombies in the Roomを開始します。これは、独自のゲームを作成してSmartPyスマートコントラクトを作成する方法を教えることにより、新しいテゾス開発者を教育するインタラクティブなコード学習スクールです。

Cryptium Labsはスイスを拠点とするセキュリティ志向の組織で、分散型台帳の研究とプロトコル開発に集中しています。Cryptium Labsは、テゾスプロジェクトの発展に役立つ多くの技術を研究開発しています。特に、コンセンサスアルゴリズム、プライバシー保護機能、証拠の提示とステーキング製品、ガバナンス、スマートコントラクト、シャーディングなどに取り組んでいます。Cryptium Labsは他のテゾス開発者と協力してBabylonとCarthageのアップグレードに携わり、世界中の会議やイベントでテゾスプロジェクトをリードしています。

DaiLambdaは日本の京都に拠点を置くソフトウェアエンジニアリング会社です。テゾスのコアプロトコルとスマートコントラクトの研究開発に取り組んでいます。DaiLambdaチームは、パリのInriaでの学界経験に端を発するOCamlの豊富な経験を持ち、トレーニングとコンサルティング契約を通じて、日本とアジア広域でテゾスエコシステムの成長に貢献しています。

ペーター・ティーマンは、ドイツ・**フライブルク大学**の情報学の教授です。ティーマン教授はCOOC (OCamlのコントラクトオーケストレーション)

ン) に対する助成金を受給しました。これはOCamlとMichelson間の円滑な相互作用を保証し、OCaml言語を使ったアプリケーションプログラムからのコントラクト呼び出しの正しいオーケストレーションを保証するプロジェクトです。

京都大学は日本で2番目に古い大学で、アジアの大学の中では最多の18人のノーベル賞受賞者を輩出したアジア屈指の研究機関です。京都大学は、現行のシンプルなMichelson型検査を研究し、Michelsonと高レベルテゾススマートコントラクト言語の静的検証技術を開発しています。彼らの研究チームは、そのような検証技術のためのアクセス可能な開発ツールを作成し、日本とアジア広地域のテゾスエコシステムの成長に貢献しています。

The Marigold ProjectはLIGOプログラミング言語のチームで、テゾスのスマートコントラクトに適した言語です。Marigoldチームはバビロンのアップグレードに貢献し、テゾスコアプロトコルを改善するために、他のテゾス開発チームと引き続き協力しています。

Nomadic Labsはスマートコントラクトの形式検証、コンセンサスアルゴリズム、およびテゾスのゼロ知識暗号実装の可能性に関する研究を行っています。Nomadic Labsは、テゾスでスマートコントラクトを作成するためのドメイン固有言語Michelson、および高水準言語のコンパイラターゲットとして機能する追加の低水準言語Albertの開発を続けています。チームは最近、テゾスなどのパブリックブロックチェーン向けの古典的なBFTスタイルのコンセンサスアルゴリズムでTenderbakeを発表し、特にプライバシー保護技術の追加などをテゾスに提案する予定です。Nomadic Labsは、グローバルなテゾス開発者コミュニティと協力して、開発イニシアチブをサポートし、テゾスプロジェクトのさまざまなチームや貢献者全体のワークフローを合理化します。

ケンブリッジ大学の**OCaml Labs**は、一流の関数型プログラミングおよび学際コンピューターサイエンスチームです。この助成金により、OCaml Labsチームはテゾスコードベースを新しいduniverseビルドシステムに移行します。これにより、テゾスビルドの速度が向上し、開発者の開発ワークフローがスムーズになります。OCaml Labsは、このプロジェクトでインド工科大学マドラス校 (IITM) の研究者と協力しています。同校はインドの高等技術教育および応用研究分野で最重要な研究所です。

OCamlは、テゾスの実装に使用される関数型プ



エイドリアン・ブリンク、Cryptium Labs

プログラミング言語です。「Learn-OCaml」プロジェクトは、教育におけるOCamlの使用を増やし、メインストリームとして受け入れ促進を目指しています。この助成金で、**OCaml Software Foundation**は、既存のOCaml MOOC（「大規模オープンオンラインコース」）を改善し、自動採点の演習を含む新しいOCaml MOOCを開発し、共同プロジェクトを立ち上げます。さらに高度でインタラクティブなテキストを作成して、OCaml上の関数型プログラミングをより幅広く効率よく聴衆に伝達することを目指します。

OCTO Technologyは、Accenture Digitalに属するフランスのコンサルティングおよびIT導入会社です。この助成金により、OCTOチームはテゾスアカデミーを構築して立ち上げます。これはLIGOスマートコントラクトの開発を、楽しくユーザーフレンドリーな方法で教える無料オンラインプラットフォームです。

SimpleStakingは、ユーライ・セレブ率いるアクティブなテゾス開発チームです。SimpleStakingチームは、安全性を重視した人気の高いRustプログラミング言語で、安全で信頼できるオープンソースのテゾスノードを実装する目的で助成金を受給しました。プロジェクトの第2フェーズで、SimpleStakingは、OCamlノードとRustノード間の相互運用性を保証するテスト環境の作成、フェイルセーフmempoolの開発、安全指向テストの数と深さの拡大、メモリモジュールの最適化、ハードウェアウォレットのサポートの追加を行います。

VDF Allianceは、ブロックチェーンエコシステム用のオープンソースハードウェアを構築する、世界クラスの学術、非営利、企業の協力者が集まる団体です。テゾス財団はVDFAllianceに参加して、テゾスのようなブロックチェーンプロトコルのセキュリティとスケーラビリティ向上の研究開発をサポートします。

エコシステム - ツール アプリケーションの助成金

テゾス財団は、スキルレベルの異なる開発者がテゾスで新たなアプリケーションを構築でき、エコシステムの成長に役立つツールを構築している数々のチームをサポートしています。テゾス財団はこれまで、この助成金作成カテゴリである、4つの主要分野（プログラミング言語とライブラリ、ブロックエクスプローラーと分析、スマートコントラクト開発、インフラストラクチャ）に焦点を当ててきました。そして、5番目のカテゴリとして、アプリケーションが、数か月前に新設されたばかりです。



イストバン・ディーク、Stove Labs

受給者とその他の受給団体・組織：

プログラミング言語とライブラリ

- Anchorage、アメリカ
- Archetype、フランス
- Brice Aldridge、アメリカ
- Cryptonomic、アメリカ
- The Marigold Prject/LIGO、フランス *
- Nomadic Labs、フランス* **
- SmartPy、アメリカ **
- Sotez、アメリカ
- TezosKit、アメリカ
- TQ Tezos、アメリカ ***

ブロックエクスプローラー

- Baking Bad、ロシア
- Cryptonomic、アメリカ
- Everstake、ウクライナ
- Figment Networks、カナダ
- Papers/AirGap、スイス
- Tezos-nodes、ロシア
- TzStats、ドイツ

スマートコントラクト開発

- Baking Bad、ロシア
- Catsigma、アジア
- DaiLambda、日本 *
- Madfish Solutions、ウクライナ
- Nomadic Labs、フランス* **
- Protofire、プエルトリコ
- Runtime Verification、アメリカ

- Tezsure、インド
- Truffle Blockchain Group、アメリカ

インフラ

- Agile Ventures、チェコ
- Baking Bad、ロシア
- camlCase、アメリカ
- Catsigma、アジア
- Cryptoeconomics Lab、日本
- ECAD Labs、カナダ
- Equisafe、フランス
- fabr(x)、アメリカ
- Madfish Solutions、ウクライナ
- OCTO Technology、フランス* ***
- Papers/AirGap、スイス
- Stove Labs、スロバキア
- Tezos Rio、ブラジル
- TQ Tezos、アメリカ ***

アプリケーション

- Ackee、チェコ
- Blockdaemon、アイルランド
- Ejara、カメルーン
- Electis、フランス
- Sword Group、フランス
- Tezos Satoshi's Treasure、アジア

合計: USD **13.2 M**

* 複数のカテゴリの機能を提供する助成金受給者
** サービス契約またはその他の正規の合意を介して
テゾス財団から資金を受ける組織だが、受給者ではない
*** 合意の最終決定中



アレックスandro・デカルリ、AirGap/Papers

プログラミング言語 およびライブラリ

テゾスを可能な限り利用しやすくするために、テゾス財団はテゾス開発への参入のハードルを下げるのに役立つオープンソースソフトウェアを作成するエンジニアをサポートしています。

Anchorageは、暗号通貨の監理のための高度なプラットフォームを提供する資格のある管理人です。この助成金により、Anchorageチームはオープンソースライブラリの範囲を拡大し、Goプログラミング言語でテゾススマートコントラクトの作成と呼び出しをサポートします。

Edukeraが構築および維持する**Archetype**は、テゾススマートコントラクトを開発するためのドメイン固有の言語で、特に契約のセキュリティに焦点を当てています。Archetypeは、事前に定義されたセキュリティプロパティのセットを提供し、論理式でコントラクトプロパティを指定できるようにします。

テゾス開発者の**Brice Aldrich**によって作成されたGo Tezosは、テゾスRPC（リモートプロシージャコール）を公開し構築する人気のGoライブラリです。Briceは、スマートコントラクトの展開やRPCの増加などの追加機能を加え、テストカバレッジを拡大することで、Goテゾスの改善を続けています。

ConseilJSは、**Cryptonomic**によってテゾス上でアプリケーションを構築するために開発したライブラリです。ライブラリはNautilusインフラストラクチャに接続されており、Conseilブロックチェーンインデクサーによって提供される高性能な分析と、内蔵テゾスノードを介してライブチェーンデータと操作のために使用されません。ConseilJSは、開発者が作業するためのより良いデータを提供し、Dockerなどのツールを介してより多くの開発環境でそのデータに簡単にアクセスできるようにすることを目指しています。

The Marigold Projectによって開発されたLIGOは、Michelsonを使ったものに比べて使

いやしいスマートコントラクト言語で大型コントラクトの開発向けに設計されました。クリーンなMichelsonコードにコンパイルする命令型言語のLIGOは、現在、OCamlに似た構文にはCamelIGO、Pascalに似た構文にはPascaligo、Reasonに似た構文にはReasonLIGOと3つの異なる構文をサポートしています。

Nomadic Labsが管理するMichelsonは、テゾススマートコントラクトのプログラミング言語で、正式検証を念頭において設計されています。かなり低レベルのスタックベースの言語ですが、当該言語の静的型システムはスマートコントラクトを実行する前にプログラミングエラーのクラス全体を排除可能です。Nomadicは、高水準言語のコンパイルターゲットとして機能する、スマートコントラクト用の中程度のプログラミング言語であるAlbertにも取り組んでいます。

スマートチェーンアリーナによって開発された**SmartPy**は直感的で有効な言語で、開発者にMichelsonにコンパイルされるPython構文を使用してスマートコントラクトを記述するために必要なツールを提供します。この言語には、一連の高水準プリミティブ、SmartML、OCamlで記述された新しい仮想マシン、およびSmartMLをMichelsonに変換するコンパイラが含まれています。Smartpy.ioは、ユーザーがSmartPyスマートコントラクトをシミュレーション、デバッグ、テスト、および分析できるSmartPyに基づくWebベースのエディターおよび統合開発環境です。

Sotezは、テゾスブロックチェーンと簡単に直感的に対話するために最低限必要なJavaScriptライブラリです。このライブラリは、テゾスの長年のコミュニティメンバーで開発者であり、Twilioのシニアソフトウェアエンジニアとして主にJavaScriptを担当しているアンドリュー・キシノが管理しています。Sotezの開発を加速し、ライブラリへの追加機能を増やして、ライブラリをより高度で広く受け入れられるようにするために、この助成金が活用されます。

テゾス開発者のキーファー・テイラーによって作成された**TezosKit**は、iOSおよびmacOS上でテゾスを強化するSwift SDK (ソフトウェア開発キット) です。この助成金を活用し、キーファーはTezos Kitの開発を加速し、最新のプロトコルアップグレードで導入されたスマートコントラクト機能を利用して、モバイルでのアプリケーション開発を改善します。さらに、キーファーはモバイルデバイス上に安全なキーストレージを構築し、

独立した外部セキュリティ監査を通じてSDKを作成します。

MorleyとLorentzはコントラクト開発のためのスマートフレームワークです。**camlCase**、**Serokell**、**TQ**、そして**Tezos**の有志チームによって開発されました。Morleyは、Michelsonで楽に効率よくスマートコントラクトを作成できるように設計されたライブラリです。Lorentzは、開発者が最も普及している関数型プログラミング言語のひとつHaskellで直接スマートコントラクトを記述できる強力なメタプログラミングツールです。

ブロックエクスプローラー

テゾス財団はコミュニティメンバーが、テゾスブロックチェーン分析に使用できるオープンソースのブロックエクスプローラーやその他のツール開発に優先して資金を提供します。

Baking Bad は、エコシステムで広く使用されている多様な製品を構築するアクティブなテゾス開発チームです。この助成金は、テゾスブロックチェーン用の軽量なAPIファーストのアカウント志向型ブロックエクスプローラーのTzKTを開発するチームをサポートします。

Arypax by **Cryptonomic**は、ブロックエクスプローラーとブロックチェーン分析ツールをすべて1つに統合したものです。ArronaxはConseilJSで開発され、Conseil APIで駆動し、柔軟なフロントエンドインターフェイスを備えた従来のブロックエクスプローラーデータを提供し、幅広いドラッグアンドドロップクエリとデータ探索を可能にします。Minimaxはテゾス向けのミニマルでレトロ風のブロックエクスプローラーです。Arronax操作のツールとして機能し、クエリの構造がわからない場合にユーザーがArronaxデータにアクセスできるようにします。

TezTrackerは、**Everstake**のチームによって構築されたテゾスブロックエクスプローラーです。この助成金でTezTrackerの開発を推進、そしてテゾスの一連の活動の分析と洞察をユーザーに提供できるようにサポートします。

Figment Networksは、専門的なステーキングサービス会社で、テゾスエコシステムに貢献しています。この助成金で、Figment Networksはテゾスエコシステム向けの高レベルの分析、アラート、およびガバナンスツールをオープンソース化し、テゾスベーカーとデリゲートに最も役立つ情

報提供を目指します。

AirGapウォレットを開発したPapersは、テゾスエコシステムのアクティブな開発チームです。Papersチームは、テゾス アゴラとの統合、テゾススマートコントラクトと資産のサポート、そしてその他の主要なメトリックとデータの視覚化を通じて高性能なベーキングやガバナデータを追加することで、テゾスブロックエクスプローラーであるtezblockの改善を続けています。

Tezos-nodes は、公開ベーカーを評価し、非公開ベーカーのノードパフォーマンスを監視するサービスです。テゾス ノードチームは、テゾス関係者がテゾスのベーカーをより効果的に評価できるように、サービス用にiOSおよびAndroidアプリを近くリリースします。

アレックス・アイヒホルン率いるBlockwatch Dataには、テゾスブロックエクスプローラーの**TzStats**と基盤となるブロックチェーンインデクサーのtzindexの開発を促進する追加助成金が交付されました。TzStatsを使用すると、ユーザーは将来のプロトコルアップグレードへのコンプライアンスを確保できるだけでなく、今後のテゾス トークン標準を追跡することもできます。直近行われたAPIのアップグレードでは、チェーンの暗黙的なイベント、コントラクトインターフェイスのハッシュ、エントリポイントのフィルターと統計などの機能が追加されました。

“

テゾス財団は、テゾスのスマートコントラクト開発への参入ハードルを下げるツールに資金を提供しています。

スマートコントラクト開発

テゾスは、組織レベルのスマートコントラクトをサポートしています。テゾス財団は、テゾススマートコントラクト開発とそれに続くアプリケーションの参入ハードルを下げるためのツールに資金を提供しています。

Baking Badは、分析ツールに加えて、テゾススマートコントラクト開発の改善に役立つ次のソフトウェアを構築しています。1) BetterCallDev [Hub] - 開発者がすべてのテゾスプロジェクトを管理するのに役立つツール (分散型GitHub)。2) Imichelson - ランタイム型チェック、構文カラーリング、および基本的なオートコンプリート機能を備えたカスタムマイケルソンインタープリターに基づくJupyter (インタラクティブノートブック) カーネル。

テゾス開発者の**Catsigma**によって構築されたMisualizerは、ユーザーがTezosスマートコントラクトの可能な動作をすべて視覚化し、内部トランザクションを追跡して、さまざまなエントリポイントの完全な画像を取得できるツールです。

DaiLambdaは、ユーザーが利用可能なテンプレートから直感的かつ有益な方法で、独自のスマートコントラクトを作成できるようにするウェブアプリケーションのプロトタイプを構築しています。このプロジェクトは形式手法で、高品質のスマートコントラクト開発の負担軽減を目指します。

Madfish Solutionは、ウクライナに拠点を置く企業で、ブロックチェーン開発で3年以上の経験があります。Madfish Solutionsチームは、2019年9月に開催された初の東ヨーロッパ・テゾスハッカソンで優勝した後、Solidityプログラミング言語からLIGOへのトランスパイラーeth2tezの開発と改善を続けています。

Mi-Cho-Coqは、Coqインタラクティブ定理証明器を使用するMichelsonの仕様です。Michelsonの構文とセマンティクスの正式な仕様と、スマートコントラクトを検証するためのフレームワークを提供します。Mi-Cho-Coq は**Nomadic Labs**が管理しています

Protofireは、ブロックチェーンとスマートコントラクトの開発チームで、基本的なクライアントに沿ったリクイディティプールのスマートコントラクトの初期バージョンおよび、コントラクトの機能と実装を説明するチュートリアルを作成しました。プロジェクトの第2フェーズでは、チームは初回実装に基づいて構築し、貸し借りの機能を追加します。

Runtime Verificationは、ランタイム検証ベースの手法を使用して、ソフトウェアの安全性、信頼性、正確性を向上させる会社です。このプロジェクトの第1フェーズでは、KフレームワークでのMichelsonの形式セマンティクスと参照実装を果たしました。K言語は、言語定義をできるだけ読みやすくすると同時に、Kセマンティクスが正確な数学的意味を保持できるように作られています。このプロジェクトの第2フェーズでは、初期状態をロードし、適切なコントラクトの実行前に終了して、マイケルソン言語をより細かい単位でテストするのに役立つユニットテスト環境を作成します。

Tezsureは、テゾスベースの保険プラットフォームです。高度な機能の実装、チュートリアルと解説ビデオの作成、および例示的なスマートコントラクトテンプレートの追加により、Tezsureチームがテゾス開発のテストツールTezsterを引き続き構築していくためにこの助成金が活用されます。

ワールドクラス開発環境のTruffle Suiteが後押しする**Truffle Blockchain Group**には、テゾス構築の効率化を目指す開発を目的として助成金が交付されました。このコラボレーションにより、テゾスのプロトコルと言語を備えたTruffleツールが初めて統合されました。これで参入へのハードルが下がり、アクセス可能な1か所からテゾス開発者が業界をリードするさまざまなツールを提供でき、テゾスアプリケーション開発の効率化に繋がります。テゾスは、Truffleのツールスイートでサポートされる最初の非EVM (Ethereum Virtual Machine) スマートコントラクトプラットフォームです。

インフラ

インフラは、活発なブロックチェーンエコシステムに不可欠です。テゾスの場合、ファイナンシャルプリミティブスや資産基準などの重要なインフラを構築するプロジェクトにより、開発者はこれらの公共財を使ってテゾス上で新しいアプリケーションを作りやすくなります。

Agile Venturesは、社内のソフトウェア開発チームおよびコンサルタントグループです。2016年以来多くのプロジェクトに取り組み、最近ではテゾスの委譲サービスのHappy TezosやTaaSを手がけました。TaaSはWebSocketエンドポイントを提供することで、アプリケーション開発者がテゾスブロックチェーンからリアルタイムで情報を収集できるサービスです。Agile Venturesチームは、TaaSの開発を継続し、GraphQL APIエンドポイントを公開するオープンソースソリューションの無料インスタンスを作成し提供します。

開発中の製品リストに加えて**Baking Bad**は、デジタル証券（「セキュリティトークン」）やその他のテゾス資産基準にさまざまなアトミックスワップ実装を提供する柔軟なプログラムモジュール集Atomex STO Gateも手掛けています。

camlCaseは、分散型ファイナンス (DeFi)、開発、教育に焦点を当てたテゾスエコシステムのアクティブなチームです。camlCaseは、テゾス上の分散型交換プロトコルDexterの開発サポートに活用する目的で助成金の交付を受けました。camlCaseが開発しているプロトコルは、自動資産交換を可能にする分散型交換プロトコルUniswapにヒントを得ています。

Misualizerと同様**Catsigma**も、TezBridgeの開発者です。TezBridgeは、ユーザーがブラウザ拡張機能をダウンロードせずに、Webブラウザーを介してテゾスベースのアプリケーションを操作できるツールです。Catsigmaは、詳細なテキストマニュアル、すべての機能の画面に記録されたGIF、改善された「プレイグラウンド」、完全なアプリケーション例を通して、TezBridgeのドキュメントを改善するために追加助成金の交付を受けました。

東京に拠点を置く著名なチーム**Cryptoeconomics Lab**は、テゾスのプラズマ実装を目的に助成金の交付を受けました。プラズマは、ブロックチェーンのトランザクションスループットを向上

させるレイヤー2のスケール技術です。さらに、Crptoeconomics Labはテズスを、アプリケーション開発ツールセットであるTezosのプラズマレイヤー用のPlasma Chamberに統合します。

ECAD Labs は、ソフトウェア開発、システムエンジニアリング、オープンソース開発、およびサポートの領域でプロジェクトを提供および管理するソフトウェアおよびサービスコンサルタントです。ECAD Labsは、テズス用のGrafanaデータソースプラグインを開発し、テズスのリモート署名者Signatoryを改善するための助成金を受給しました。ECAD Labsは、テズス上で開発するためのTypeScriptライブラリスイートTaquitoの開発にも関わっています。

Nomadic LabsとOCTO Technologyの支援を受けている**Equisafel**は、テズスブロックチェーンでの金融商品の発行と適正な転送を目的とした資産標準とスマート コントラクト パッケージを作成するために助成金の交付を受けました。Nyx標準は、テズスを活用して、160項目を超えるあらかじめ定義されたビジネスルールを自動的に保護および実行します。

Fabrxは、web3 (ブロックチェーン) テクノロジーのクラウド企業です。このプロジェクトを通じて、Fabrxはアプリケーションの自動APIメソッドとトリガーベースの機能をサポートしながら、テズスブロックチェーン用のプロトコルレベルのトリガーおよびイベントプラットフォーム (IFTTT。「If This Then That」の略) を作成しました。

eth2tezに加えて、**Madfish Solutions** は次のインフラストラクチャを構築するための助成金の交付を受けました。1) QuipuSwap - 安全で分散化された検閲耐性のある方法で、テズス上のトークン/資産のシームレスな交換を可能にするプロトコル。

2) Thanos - さまざまなテズスのアセット標準、dApp、エクスプローラーなどの統合サポートを備えたユーザーエクスペリエンス (UX) に焦点を当てたフル機能のウォレット

OCTO Technologyは、Accenture Digitalに属するフランスのコンサルティングおよびIT導入会社です。このプロジェクトを通じて、OCTOチームはテズスネットワークへのHTTP APIのTezos Linkを構築して起動します。

Papersは、他のテズス開発チームと協力して、ユーザーがブラウザを介してTezosベースのアプリ

ケーションと対話できるウォレットインタラクション標準を作成します。この標準を使用して、すべてのアプリケーション開発者が一般的な実装を介してウォレットを簡単に組み込めるように、ブラウザ拡張ビーコンの開発に取り組んでいます。

StoveLabsは、非ファンジブルトークン (NFT) の実装と、テズス「サトシの宝」 (Tezos Satoshi's Treasure) の開発をサポートするための助成金を受給しました。Stove Labsは、マテイ・シマが率いるアクティブなテズス開発チームで、Granary (スマートコントラクトとアプリケーション開発用のテズスツールキット) などのさまざまな製品を開発し、新しいテズス開発者にトレーニングを提供しています。

Tezos Rioは、ブラジルのリオデジャネイロを拠点とするテズス開発者とコミュニティメンバーのチームです。ルイス・ミルフオントが率いるTezos Rioは、他の開発者、ベーカー、エンドユーザー向けのソフトウェアとツールを開発しています。現在開発中の製品は、テズス用のJava SDKのTezosJ、テズスベーカー向けの自動支払いシステムのTAPSです。

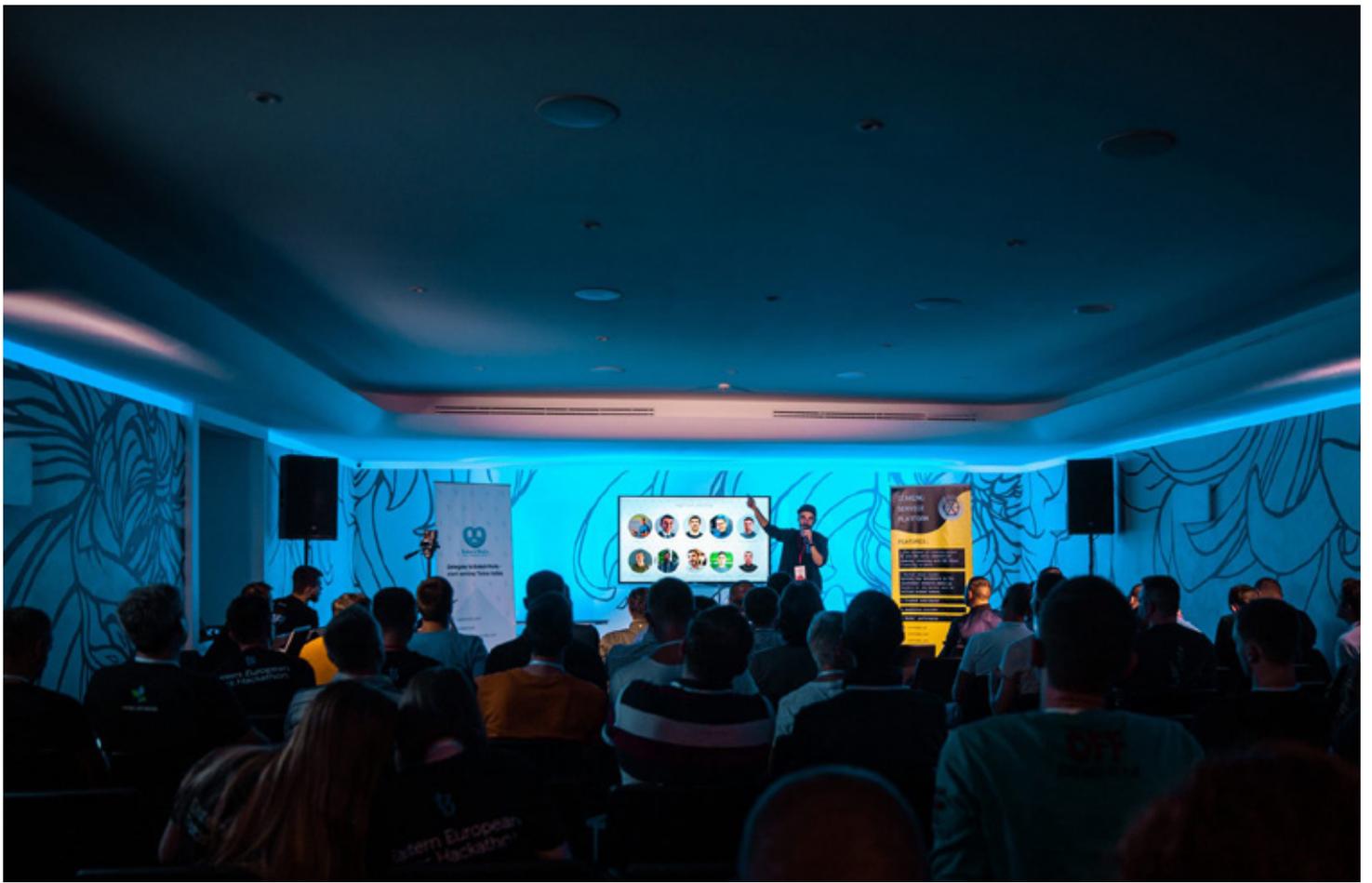
TQ Tezosは、企業と開発者向けのテズスベースのソリューション、およびオープンソースソフトウェアを開発する技術チームを備えています。開発中のさまざまな製品の中で、TQ Tezosは他のテズス開発者と協力して、幅広いトークンタイプ (たとえば、交換可能、非真偽可能、譲渡不可) の両方をサポートする統合トークンコントラクトインターフェースの標準およびマルチアセットコントラクトの開発を指揮しています。

アプリケーション

エンドユーザーアプリケーションは、テズスの導入とそのエコシステムの成長促進に役立ちます。当財団は、テズスベースのさまざまな実例に沿ったアプリケーションを作成するプロジェクトに助成金を交付しています。

Ackeeは、プラハとベルリンにあるモバイル開発会社です。Ackeeは、キーファー・テイラーのTezosKitから派生したTezosSwiftライブラリの使用方法を示す概念実証iOSアプリケーションを作成しています。

Blockdaemonは、開発者と企業にブロックチェーンインフラストラクチャとノード管理サービ



東ヨーロッパで初めて開催されたテゾスハッカソン、2019年9月

を提供します。Blockdaemonチームは、この助成金を活用し、テゾスノードのダウンロード、構成、実行が可能なCLIベースのアプリケーションを作成します。アプリケーションはプラグインベースになるため、さまざまな使用に合わせて簡単に拡張できます。

Ejaraは、アフリカ市場に特化した、暗号通貨とトークン資産をサポートするモバイルアプリケーションです。Ejaraを開発したNzinghaa Labチームは、この助成金を活用して、スマートコントラクトを開発して製品に統合し、安全なウォレットバックアップとキーリカバリー、ビットコイン・テゾスのアトミックスワップ、およびテゾスのクロスチェーンキー登録とリカバリーシステムを実現します。

Electisは、多数決・投票向けのテクノロジーの新しい利用促進を目指す非営利団体で、ブロックチェーンテクノロジーと特定の投票プロジェクトに関する特別な専門知識を備えています。このプロジェクトで、Electisチームは開発中の共通テゾスベースのアプリケーションを使用し、2020年に10~20の大学で選挙投票を組織します。

Sword Groupは、コンサルティングとITサービスをグローバルに提供する企業で、電子コンテンツ管理分野での主要なシステムインテグレーターです。このプロジェクトで、Sword Groupは、テゾスブロックチェーンに文書の真正性の証明を保存し、文書詐欺（偽造の請求書など）に対処するオープンソースソフトウェアを構築します。

Tezos Satoshi's Treasureは、マルチプレイヤースキルゲームで、難しいパズルを解いて100万Tezの賞金プールからTez（テゾス トークン）を獲得できます。このテゾス ハントは、一連のスマートコントラクトに基づいており、問題解決スキルを駆使してパズルを解いたハンターに即座に報酬が与えられるようになっています。

コミュニティ 助成金

テゾスはデジタルコモンウェルスとなることを意図して作られました。プロトコルは、検閲への耐性がある（ネットワークを潰すことが実質不可能）トランザクション、証拠証明ベースのコンセンサスアルゴリズム、および統合されたガバナンス体系を通じたコミュニティにおける個々のメンバーの支援を意図して作成されました。協調的でオープンなグローバルコミュニティを目指してこの設計が選ばれました。テゾス財団は、世界中のコミュニティが成功への必要なサポートを得られるように、コミュニティの開発、イベント、およびテゾスエコシステム成長に取り組む団体に資金を提供しています。

受給者とその他の受給団体・組織

- Norn Community、ロシア
- Reason Association、オーストリア
- Tezos Brazil、ブラジル
- Tezos China、中国
- Tezos Commons、アメリカ
- Tezos India、インド
- Tezos Israel、イスラエル
- Tezos Japan、日本
- Tezos Korea、韓国
- Tezos Southeast Asia、シンガポール
- Tezos Ukraine、ウクライナ ***
- Tezos.help、スウェーデン
- TQ Tezos、アメリカ ***

合計: USD **13.2 M**

* 複数のカテゴリの機能を提供する助成金受給者
** サービス契約またはその他の正規の合意を介して
テゾス財団から資金を受ける組織だが、受給者ではない
*** 合意の最終決定中



Norn Community's TezosNotifierBotは、トランザクション、委譲、不足しているブロックの承認、ダブルベーキングなど、テゾスブロックチェーン上のさまざまなイベントを監視するために使用される人気のあるテレグラムボットです。この助成金により、Nornコミュニティはテレグラム向け @TezosNotifierBot およびボットを改善・拡張し、他の通知チャンネルもサポートしていきます。

Reason Associationは、ReasonMLおよびOCamlプログラミング言語の実用的な研究、開発、およびプロモーションに焦点を当てた非営利団体です。この助成金により、Reason AssociationのReasonMLコミュニティ成長を支援します。より効果的な学習教材とツールをリリースし、Tezos関連のコンテンツとリソースを作成して、ReasonMLコミュニティのより多くのメンバーのテゾスエコシステムへの参加促進に寄与します。

Tezos Brazilは、ビジネス、製品、コミュニティの開発に関わるチームです。これらのイニシアチブを通じて、Tezos Brazilは、大陸規模の国でテゾスプロジェクトとエコシステムの導入と成長を促進しています。

Tezos Chinaは、中国に拠点を置く非営利団体で、中国およびその他アジア圏でテゾスエコシステムの成長を進めています。Tezos Chinaは、地域でのテゾスプロジェクトの進展を支援するために、ミートアップを主催し、ビジネス開発イニシアチブに取り組み、教育およびトレーニングセッションを実施しています。

Tezos Commonsは、草の根コミュニティの利益組織を目的とした北米の非営利財団です。Tezos Commonsは、コミュニティの構築、教育、プロモーション、およびコラボレーション型のオープンソースソフトウェアイニシアチブ向けのプログラムを提供しています。2018年に設立されたTezos Commonsは、デジタルコモンウェルスの構築に特化したアイデア、個人、組織をサポートしています。

Tezos Indiaは、テゾス使用を望む個人や組織を支援することで、世界最大のデモクラシーを支えています。テゾス開発者のコミュニティを成長させ、ワークショップ、ミートアップ、ハッカソンを通じてインドのテゾスプロジェクトを押し進めることを目標としています。

Tezos Israelは、イスラエルのテゾスエコシステムの教育、訓練、成長を使命とする団体です。Tezos Israelの活動は、スタートアップ、企業、およびさま

さまざまな政府機関と協力し、テゾスでプロジェクトを実現することの潜在的な利点を紹介することで、技術開発とビジネス開発を行うことに焦点を当てています。

Tezos Japanは、企業活動、エンジニアリング業務、および日本のテゾスコミュニティのサポートに焦点を当てた非営利組織です。Tezos Japanは、様々な規模の企業と連携し、技術教育セミナーを開催し、地域全体でコミュニティ主導のイベントを開催しています。

Tezos Koreaは、韓国の大学と協力してイベントを主催し、教育を提供し、技術開発をサポートする非営利組織です。Tezos Koreaは、ビジネスコンサルティングを担当し、韓国でのテゾス導入を進めています。

Tezos Southeast Asiaは、シンガポールに拠点を置く非営利団体で、地域全体でテゾスの導入と認知を進めています。チームは、テゾスベースの構築や実装アドバイスおよび教育イベントを目指しているスタートアップ企業に対して、シンガポールその他東南アジアでのテゾスエコシステム拡大の技術的なインキュベーションとサポートを提供します。

Tezos Ukraineは、ウクライナのブロックチェーン支持者と長年のテゾスコミュニティメンバーが運営する非営利団体です。ウクライナとCIS（

独立国家共同体）地域でのテゾスプロジェクトの成長発展を促進することを使命としています。

Tezos.helpは、新メンバーをテゾスコミュニティに参加させ、さまざまなテゾスリソースの活発なリポジトリとして機能させるために、クラス・ハリソンが2017年に創立した団体です。このプロジェクトの一環として、クラスは元のTezos.help Webサイトを、関連するすべてのテゾスエコシステムプロジェクトとリソースする完全かつ自立的なライブラリに拡大しました。

TQ Tezosは、ニューヨーク市に拠点を置く組織で、テゾスの導入と認知度の向上に焦点を当てています。企業と開発者向けのテゾスベースのソリューションとオープンソースソフトウェアの作成の他、ビジネス開発、スタートアップ企業や既存企業が興味深いユースケースに対してテゾスを導入するのを支援し、マーケティングやイベントやエコシステム開発の取り組みで他のテゾス組織やコミュニティメンバーと緊密に連携します。



MDEASoftwareとNomadic Labsがリサーチ契約を締結

産業への 活用

ファイナンシャルサービス

金融サービス部門はパートナーに対して、市場をリードするテクノロジーソリューションにとどまらず、併せてコンプライアンスにも重視することを求めています。テゾス財団は、ビッグ4のPwCスイスによる定期的な監査含め業界をリードするコンプライアンス基準を保持し、さらにグローバル規模での規制準拠プロジェクトのサポートに力を注いでおり、金融サービス部門に最適で、同分野でテゾスの導入が進んでいます。



Taurus Protect、デジタル アセット ストレージ ソリューション

テゾスのデジタル証券

テゾス財団は、デジタル証券（「セキュリティトークン」または「トークン化された証券」）がテゾス上のユースケースとして最初に広まった例になると考えています。セキュリティのライフサイクルをあらゆる角度で管理するスマートコントラクトが、現状の金融インフラ上の制約をいくつか解決できるでしょう。デジタル証券の利点を挙げると、即時の効率アップとコスト削減、グローバルに分散した資本供給を解放する可能性、所有権と出所をめぐる安全確保などがあります。

テゾス財団と全世界のテゾスエコシステム企業は、デジタル証券のバリューチェーンのあらゆるレベルの企業と提携して、テゾスを明日の資本市場の新しい基盤テクノロジーとして開発および統合します。

厳選したコラボレーションと発行プラットフォーム

Fundament Group

ベルリンに本拠を置くFundament Groupは、金融監督庁BaFinの監督の下、ドイツ初のデジタルセキュリティを手がけます。Foundationはエンドユーザーへの流通チャネルを含む、デジタル証券のエンドツーエンドのインフラを構築しています。テゾスはoundation製品向けのデフォルトのブロックチェーンです。

Globacap

Globacapは、ロンドンを拠点とする大手デジタル証券の発行および管理プラットフォームで、イギリスのFCA（Financial Conduct Authority）の監督下にあります。Globacapは、多くのデジタル証券取引所のパートナーでもあり、ブロックチェーンベースのデジタル証券の流通市場を提供しています。Globacapを介して発行されるの優先基盤ブロックチェーンとしてテゾスが上がっています。

Securitize

Securitizeは、ファンドや株式や債券や不動産などを対象にしたデジタル証券作成に信頼できるグローバルソリューションを提供するプラットフォームです。Securitizeは自社の製品にテゾスを統合して、世界中の発行者が利用できます。

Taurus Group

Taurus Groupは、デジタル資産の取引や投資、保護向けの次世代プラットフォームを構築するスイスの金融サービス会社です。Taurusは、暗号通貨を保管するスイスの大手B2Bサービスプロバイダー（企業間）でもあります。Taurusはテゾスをブロックチェーンのテクノロジーパートナーとして推進し、そしてプラットフォーム上のデジタル証券発行のブロックチェーンとして統合します。Taurusは、ヨーロッパの金融機関とのデジタル証券プロジェクトを可能にし、テゾスベースのデジタル資産への追加アクセスを提供します。

Vertalo

Vertaloは、ブロックチェーンテクノロジーを使用してデジタルアセットエコノミーを接続および有効化するキャップテーブル、コンプライアンス、投資家向けのプラットフォームです。

Vertaloは、SECに登録された証券代行エージェントとして、民間企業、ブローカーディーラー、投資家の資産管理を継続的にサポートし、顧客向けの標準ブロックチェーンとしてテゾスを使用します。

発表済みユース ケース抜粋

Alliance Investments

イギリス・マンチェスターの不動産開発大手Allianceは、5億英ポンドの不動産をトークン化、さらにテゾス財団のtZeroそしてデジタル証券アドバイザーブティックのMegadolonと、マンチェスター中心部で最初のデジタルセキュリティプロジェクト「River Plaza」(GBP 43 M)で提携を発表しました。

Andra Capital

アンドラキャピタルのオープンエンド型投資信託であるThe Silicon Valley Coinは、テゾスベースの取引可能なデジタルセキュリティです。ブロックチェーンテクノロジーを使用して、従来のベンチャーキャピタル投資の型を打ち破ります。この投資信託が投資するのは、5億米ドル以上の価値の世界クラスのベンチャーキャピタルに支えられ業界をリードする、後期段階の大手民間テクノロジー企業です。

Baanx

Baanxは、ウォレット、ペイメントレール、KYC / AMLなどのモバイルバンキングアプリケーション向け特許プラットフォームを開発し、サードパーティーのディストリビューターとして運営しています。Baanxは英国で電子マネーライセンスを保持しています。コア製品は、Baanxの分散型暗号通貨バンキング、為替、および支払いシステムのホワイトラベル業務です。Baanx製品の中には、すでに30か国で発行されている、物理的なカードおよび仮想VISAデビットカードオプションを備えた暗号通貨モバイル決済アプリも含まれています。テゾスは支払い通貨として統合されます。

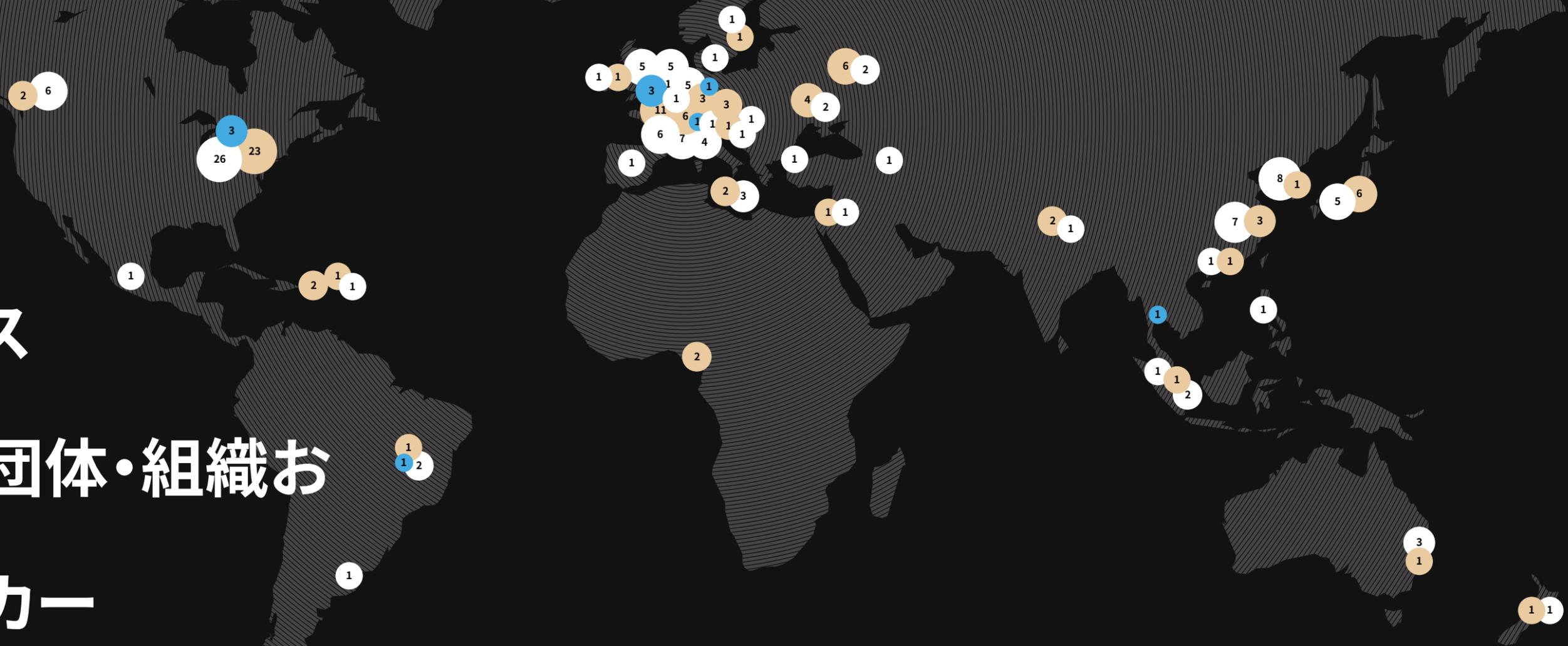
以前発表されたデジタル証券分野でのコラボレーションはそのまま続いています。テゾスエコシステムの団体組織とテゾス財団は、今後のReitBzのUSD 1B STO (セキュリティトークンの提供) を視野に入れて、ラテンアメリカの大手投資銀行であるBTG PactualでのTezos統合などのプロジェクトに集中的に取り組んできました。さらに、テゾスをベースブロックチェーンとするタイ初のSEC承認の証券トークン取引所ERX (Elevated Return Exchange) は、2020年に発売を開始します。



パイプラインにおけるその他のユースケース

発表済みパートナーシップに加えて、テゾス財団とその他テゾスエコシステムのエンティティは、2020年後半に発表される様々なプロジェクトに取り組んでいます。今後のプロジェクトの焦点は、金融サービス、特にデジタル証券だけでなく支払い、CBDC（中央銀行のデジタル通貨）、Defi、ゲーム/スポーツ/メディア、サプライチェーンなどの他のユースケースです。これらの分野でのプロジェクトとパートナーシップは現在構築中です。今後改めて明らかにしてまいります。

テゾス 財団 受給団体・組織お よび ベーカー



助成金
(期間中のすべてのアクティブな助成金)

1	オーストリア	1	14	日本	6
2	ブラジル	1	15	韓国	1
3	イギリス領ヴァージン諸島	1	16	マルタ	2
4	カメルーン	2	17	ニュージーランド	1
5	カナダ	2	18	プエルトルコ	2
6	中国	3	19	ロシア	6
7	チェコ	3	20	シンガポール	1
8	フランス	11	21	スロバキア	1
9	ドイツ	3	22	スウェーデン	1
10	香港	1	23	スイス	6
11	インド	2	24	イギリス	4
12	アイルランド	1	25	ウクライナ	4
13	イスラエル	1	26	アメリカ	23

戦略パートナー
(2020年1月31日現在のすべての戦略的
パートナーシップの所在地)

1	ブラジル	1
2	ドイツ	1
3	スイス	1
4	タイ	1
5	イギリス	3
6	アメリカ	3

パブリックベーカー
(2020年2月4日現在、mytezosbaker.com)

1	アルゼンチン	1	14	香港	1	17	フィリピン	1
2	オーストラリア	3	15	ハンガリー	1	28	ロシア	2
3	オーストリア	1	16	インド	1	29	シンガポール	2
4	アゼルバイジャン	1	17	アイルランド	1	30	スロベニア	1
5	ベルギー	1	18	イスラエル	1	31	韓国	8
6	ブラジル	2	19	イタリア	4	32	スペイン	1
7	イギリス領ヴァージン諸島	1	20	日本	5	33	スウェーデン	1
8	カナダ	6	21	ルクセンブルク	1	34	スイス	7
9	ケイマン諸島	2	22	マレーシア	1	35	トルコ	1
10	中国	7	23	マルタ	3	36	イギリス	5
11	デンマーク	1	24	メキシコ	1	37	ウクライナ	2
12	フランス	6	25	オランダ	5	38	アメリカ	26
13	ドイツ	5	26	ニュージーランド	1			

ファイナンシャル

ファイナンシャル

テゾスプロジェクトとエコシステム促進ためのリソースを最も効率よく提供できるように、テゾス財団はその有効性、効率、透明性を継続的に改善しています。エコシステムへのリソースの提供には助成金作成プロセスは不可欠です。そのためテゾス財団はこのプロセスをさらに合理化し、成果物やマイルストーンなどの助成金情報を公開することで、率先してより広いコミュニティに透明性を提供します。このプロジェクトが進行に伴い、さらに多くの情報をリリースします。

テゾス財団は、大手ブロックチェーン組織の中で唯一、毎週の更新と詳細の半期更新活動報告書を発行しており、この半期更新活動報告書で、コミュニティと外部監査者に、テゾス財団の財政や運営に関する情報を提供しています。

テゾス財団は、定期的にテゾス財団理事会が策定および再検討する資産管理戦略に従っています。暗号通貨の価格は常時に監視されており、2019年8月に発行された第1期半期更新活動報告書以降、安定化基金は変更されていません。

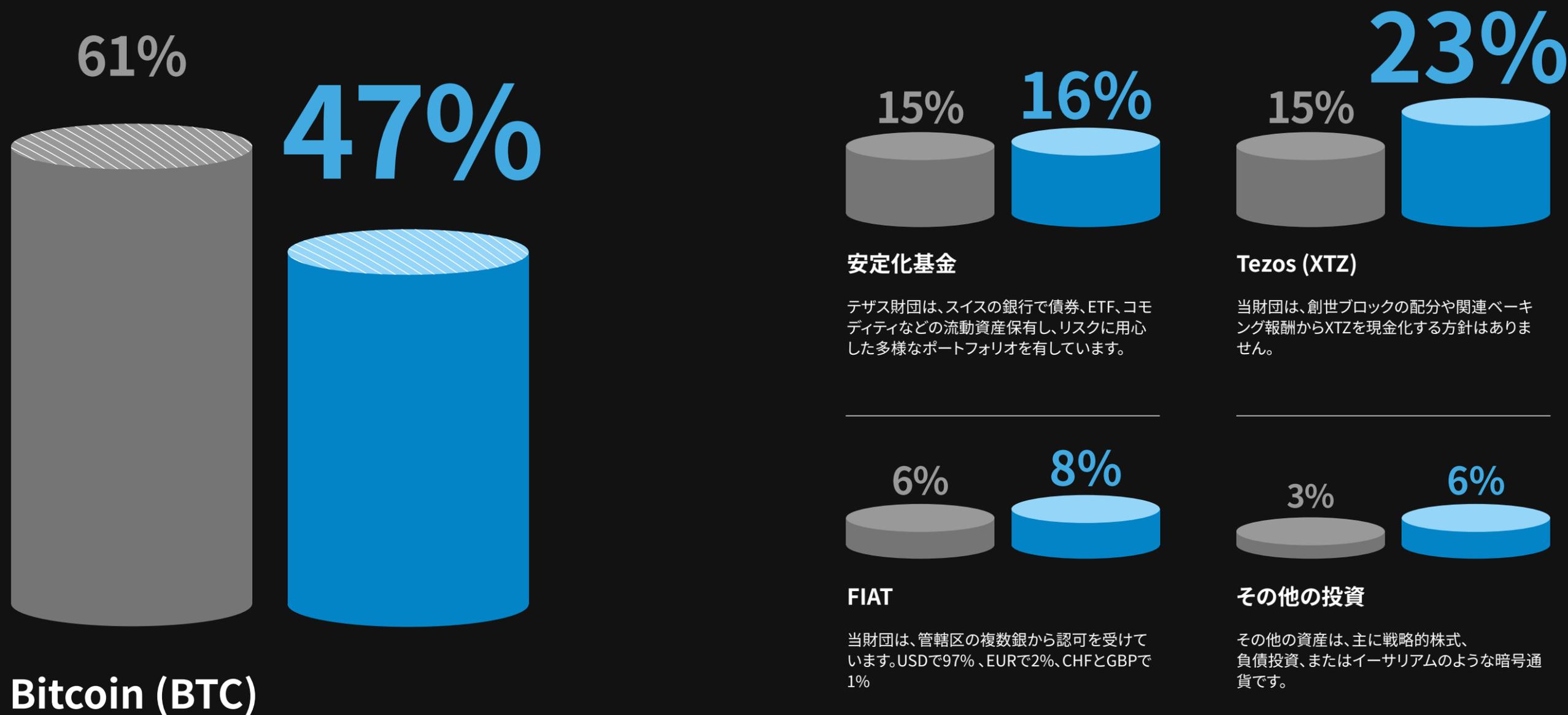
さらにテゾス財団は、「ビッグ4」の監査機関PwCスイスの監査を受けている唯一の大手ブロックチェーンです。2018年度の最終監査は完了し、慣習的にスイスの法律で義務付けられている監査報告書はスイス連邦財団監督機関に提出済みです。

重要な暗号通貨を保有している組織である私たちが、2018年度の監査レポートで希少な無限定適正監査レポートを受けたことを誇りに思っています。無限定適正監査レポートは、独立した外部監査人によって組織の財務諸表がスイスの法律に従って公正かつ適切に作成されていると見なされた場合に発行されます。またPwCスイスによる2019年の会計監査も進行中です。監査終了後に、テゾス財団から報告します。テゾス財団は2019年会計年度を、法的な理由によりスイスの会計基準から国際会計基準(IFRS)に変更します。テゾス財団は、次のマイルストーンに備えて環境を整えています。

ファイナンシャル

2020年1月31日時点の保有資産の市場価値はUSD 635 M (USD 652 M
— 2019年7月31日時点)

635,009,406



Bitcoin (BTC)

財団の暗号通貨資産は、複数の安全な保管ソリューションで管理されています。

安定化基金

テザス財団は、スイスの銀行で債券、ETF、コモディティなどの流動資産保有し、リスクに用心した多様なポートフォリオを有しています。

Tezos (XTZ)

当財団は、創世ブロックの配分や関連ベーキング報酬からXTZを現金化する方針はありません。

FIAT

当財団は、管轄区の複数銀行から認可を受けています。USDで97%、EURで2%、CHFとGBPで1%

その他の投資

その他の資産は、主に戦略的株式、負債投資、またはイーサリアムのような暗号通貨です。

ガバナンス

テゾス財団の 理事会と委員会

テゾスコミュニティのテゾス財団の組織とガバナンスに関する透明性向上のために、テゾス財団の組織の機能と責任を以下に示します。



テゾス財団理事会

財団理事会

理事会は、財団とその資産の管理と運営、および財団の戦略決定における包括的責任を負います。財団の憲章に従い、財団理事会は運営および資産管理の任務を財団の執行委員会に委任しています。財団理事会は、自らで理事を任命し、構成します。現在、財団の理事長を含む7人の理事で構成されています。

執行委員会

執行委員会は、財団の運営および資産管理の任務を財団理事会から委任されています。さらに、執行委員会は理事会の決議を実施し、財団の目的を促進する投資決定に対して一定の責任を有しています。

監査委員会

監査委員会は、財務諸表や税務など財団の財務報告および事業報告を監視する組織です。監査プロセスには、財団の法定監査人（PwCスイス）の活動、妥当性、有効性の確認があります。

投資委員会

投資委員会は、通常の助成金や通常の資産管理以外のあらゆる財団の投資について、財団理事会と執行委員会に推奨とアドバイスを行う組織です。

技術諮問委員会

技術諮問委員会は、テゾスプロトコルのすべての技術的問題（財団が資金提供する技術的優先事項を含むがこれらに限定されるものではない）について、財団理事会と執行委員会に勧告と助言を提供するために設立された組織です。TACにはテゾスコミュニティの外部委員が含まれます。

指名委員会

財団理事会は最近、新会員を評価し財団理事会に提案する指名委員会を設置しました。将来のガバナンス構造の詳細については、テゾス財団のウェブサイトをご参照ください。



テゾス財団執行委員会

“

執行委員会は、
財団理事会から
テゾス財団の運営管理を
任されています。

財団理事会

テゾス財団理事会は、テゾスプロトコルとエコシステムをサポートするため、テゾス財団を率いる経験豊富な専門家で構成されています。各理事が、それぞれの分野の専門知識と見識を提供します。世界中から集まったユニークで経験豊富な理事の全員で理事会を形成しています。



フベルトス・トーンハウザー、アレクシス・ボンテ、ミシェル・マウニー



ライアン・ジェスパーソン
ライアンはテゾス財団の理事長です。直近では、FinTech企業DivvyのCOOを務めていました。ライアンは、プリガムヤング大学で理学士号を、デューク大学のフクアスクールオブビジネスでMBAを取得しました。



アレクシス・ボンテ
アレクシスはStillfront Group内のオンラインゲーム会社eRepublik Labsの共同創設者兼CEOで、またStillfront GroupのGroupCOOです。また、Atomicoのベンチャーパートナーでもあり、フランス、スペイン、ポルトガル、東ヨーロッパへの新規投資について助言し、ゲーム、ブロックチェーン、旅行業界の成長を進めています。



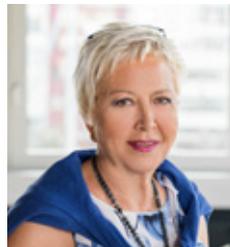
ラース・ハウスマン
ラースは、Hausmann Treuhand AGの企業管理および管理責任者です。企業運営、管理、および要求の厳しい複雑な状況での会計案件で幅広い経験があります。



ライアン・ラッキー
ライアンは、1990年代初頭にCypherpunksメーリングリストを始め、デジタルマネーや暗号化プロジェクトに長い間携わってきたコンピュータセキュリティ分野のシリアル起業家です。2000年にイラクの防衛衛星請負業者として世界初のオフショアデータポートであるHavenCoを共同設立し、さらに信頼できるサーバーコンピューティングスタートアップを構築した後にCloudflareに売却しました。



ミシェル・マウニー
ミシェルはNomadic Labsの研究開発統括責任者です。INRIA (フランス国立情報学自動制御研究所) を休職中で、INRIAでは上級研究者、またINRIA財団の最高経営責任者を務めました。



マリレーヌ・ミシェル
マリレーヌは、ジュネーブ大学でコンピューターサイエンスの修士号を取得した最初のスイス人女性で、研究者、専門家、教授として働いていました。マリレーヌは、11年間、スイス西部の図書館ネットワークRERO (4つの大学と6つのスイスの州) のディレクターを務めていました。



フベルトス・トーンハウザー
フベルトスは、ソーシャルインパクトを創造するハイテク企業で、ファミリーオフィスの支援を受けているVC会社Enableing Futureのマネージングパートナーです。MENA地域をリードするモバイルゲームパブリッシャーBabil Games (2016年にスティールフロントグループが買収) の共同設立者でした。2010年以前は、認定カジノおよびデジタルゲーム業界で経営幹部職および取締役のポストを歴任しています。

財団委員会

執行委員会

フベルトス・トーンハウザー
投資委員会委員長

ライアン・ジェスパーソン
財団理事会理事長

ウルリッヒ・ザウター
顧問弁護士

ローマン・シュニダー
最高財務責任者/オペレーション責任者

投資委員会

フベルトス・トーンハウザー
委員長

ライアン・ラッキー
最高セキュリティ責任者

リリー・リュウ
Earn.com共同設立者

ウルリッヒ・ザウター
顧問弁護士

ローマン・シュニダー
最高財務責任者/オペレーション責任者

監査委員会

ラス・ハウスマン
委員長

ライアン・ジェスパーソン
財団理事会理事長

ウルリッヒ・ザウター
顧問弁護士

ローマン・シュニダー
最高財務責任者/オペレーション責任者

技術諮問委員会

ミシェル・マウニー
委員長

ジェイコブ・アルルク
TQ Tezos共同設立者

ブルノ・ベルナルド
Nomadic Labsリサーチエンジニア

エイドリアン・プリンク
Cryptium Labs共同創設者

ベンジャミン・カノウ
Nomadic Labs最高技術責任者

古瀬 淳
Tezos Japan財団ディレクター

キャレブ・コウ
Tezos Southeast Asia会長

ライアン・ラッキー
最高セキュリティ責任者

ロブ・ウイトフ
Polychain Labs最高技術責任者

指名委員会

アレクシス・ボンテ
財団理事会理事

ライアン・ラッキー
最高セキュリティ責任者

ウルリッヒ・ザウター
顧問弁護士

フベルトス・トーンハウザー
投資委員会委員長

私たちが目指すのは
世界中の個人や団体組織をサポート
し、堅牢かつ
分散型のデジタル
コモンウェルスを作り出すことです。

”



役割

tezos.comでテゾスのプロジェクトに参加しましょう
テゾス財団について詳しくは、tezos.foundationをご覧ください

テゾス財団は、スイス非営利財団です（所在地：Dammstrasse 16, 6300 Zug, Switzerland）。テゾス財団は、スイス連邦内務省に属するスイス連邦財団監督局の監督下にあります。特にテゾスプロトコルと関連技術の促進と開発を含む、新たに開かれた分散型のソフトウェアアーキテクチャの分野における、新しい技術とアプリケーションの開発促進を活動の目標としています。この半期更新活動報告書は、SFSAによるテゾス財団の公式活動報告書ではありません。この半期更新活動報告書はあくまで、誠実に一般的な情報提供のみを目的に公開されている資料です。テゾス財団は、本書に記載されている情報の完全性、信頼性、正確性について、いかなる保証もいたしません。特に明記のない限り、本半期更新活動報告書に記載されるすべてのデータ、情報、および写真は、テゾス財団が作成し、知的財産として所有しています。